

カタヒバ

Selaginella involvens (Sw.) Spring

イワヒバ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が少なく、個体数も少ない。(現況:RO)

形態

葉は鱗片状・小型で密に付く、地上茎と地下茎があり、地下茎は浅く苔の下や地中を這う。地上茎は3~4回分枝し、長卵形の葉身状に広がり、下部は葉柄状になる。

国内分布

本州、四国、九州。

県内分布

南加賀区。

生態など

常緑性の着生植物、冬季は紅色を帯びる。繁殖は地下茎と孢子による。孢子は夏頃から熟し、風散布による。

生育環境

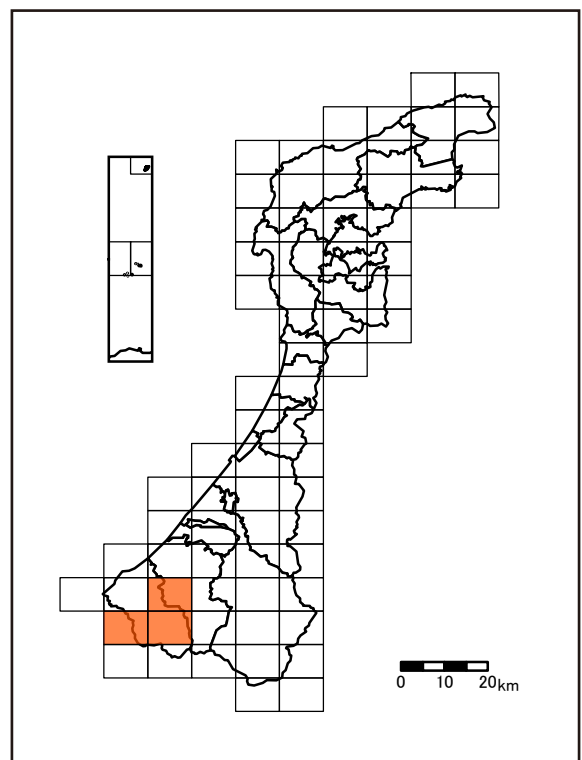
低い山地の溪流や陰湿な場所の岩上、岩壁に生育する。

危険要因

河川開発、自然遷移、産地局限。



白井伸和・2008年12月18日・加賀市



県内の分布